TAKEMOTO

高性能減水剤　コンクリート製品用(状態改良タイプ)

チューポールNV−80F

チューポール NV-80F は、コンクリート製品向けに最適化したポリカルボン酸系化合物、および特殊非イオン界面活性剤を主成分とする高性能減水剤です。JIS A 6204「コンクリート用化学混和剤」高性能減水剤（Ⅰ種）に適合し、一般強度から高強度・高流動コンクリートまで幅広くご使用できます。

また、新規開発の特殊非イオン界面活性剤の作用により、水・セメント・骨材の界面に作用し、コンクリートに平滑性・潤滑性を付与し、コンクリートの状態を改良することができます。

特　長

- セメント分散性に優れ、一般強度から高強度・高流動コンクリートの製造効率を改善します。
- 特殊非イオン界面活性剤の作用により、水・セメント・骨材の界面に吸着し、各材料間の摩擦を減少させ平滑性、潤滑性を与えます。
- コンクリートに適度な粘性と平滑性・潤滑性を付与することによりコンクリートの一体性が向上するため、細骨材率を 1～3%程度低減しても良好なフレッシュ性状を確保することができます。
- 表面気泡が少なく、コンクリート製品の美観性を改善します。

主成分・物性

主 成 分	外　観	密度 (g/cm³, 20℃)
ポリカルボン酸系化合物と特殊非イオン界面活性剤	褐色液状	1.01 ～ 1.09

使用量・使用方法

- チューポール NV-80F の標準的な使用量の範囲は、セメント等の粉体質量に対して 0.4～3.0%です。
- 最適な使用量は、使用目的、材料条件、配合条件、練混ぜ条件、温度条件などにより異なりますので、標準使用量の範囲内で目標性能が得られるよう試し練りにより決定してください。
- コンクリートの練混ぜ時に、単位水量の一部としてご使用ください
- AE コンクリートにする場合には、当社の空気量調整剤を併用してください。

JIS A 6204「コンクリート用化学混和剤」による試験結果(例)

項　　目		高性能減水剤（Ⅰ種）	
		JIS A 6204 による規定値	試験値
減　水　率　(%)		12 以上	13
凝結時間の差 (分)	始　発	+90 以下	±0
	終　結	+90 以下	-5
圧縮強度比 (%)	材齢 7 日	115 以上	132
	材齢 28 日	110 以上	125
長さ変化比　(%)		110 以下	89
塩化物イオン（Cl^-）量（kg/m³）		0.02 以下	0.00
全アルカリ量（kg/m³）		0.30 以下	0.01

日本建築総合試験所による試験結果

コンクリート試験結果(例)：実機実験

W/C (%)	s/a (%)	単位量 (kg/m³)				混 和 剤		スランプ (cm)	空気量 (%)	圧縮強度 (N/mm²)			
										蒸気養生		標準養生	
		W	C	S	G	種 別	使用量 (C×%)			18 時間	14 日	7 日	28 日
50.0	44.0	168	336	801	1052	AD1	0.75	15.0	1.9	12.1	32.2	38.7	52.7
	41.0			747	1108	NV-80F	0.70	15.5	1.5	13.4	33.0	39.3	53.2

<使用材料> セメント：普通ポルトランドセメント（C,密度 3.16g/cm³），細骨材：陸砂（S,密度 2.58g/cm³），
粗骨材：砕石 2005A（G,密度 2.66g/cm³），混和剤：市販高性能減水剤(AD1)，チューポール NV-80F
<目標値> 目標スランプ＝15cm ，目標空気量＝2.0%
<コンクリートの練上がり温度> 20℃
<養生条件> 蒸気養生：前養生：20℃2h→昇温速度：20℃/h→恒温 60℃3h→降温速度：20℃/h→20℃
標準養生：20℃水中養生

市販高性能減水剤

チューポール NV-80F

写真 蒸気養生後の製品肌面の状況

取扱い上の注意事項

- 本製品を標準使用量の範囲外で使用する場合は、あらかじめ試し練りで性状を確認するか、当社営業担当に別途ご相談ください。
- 取扱い時には、保護メガネ、保護手袋等、保護具を着用してください。
- 目に入った場合は、清澄な水でよく洗浄した後、ただちに医師の手当てを受けてください。
- 服用は絶対に避け、万一誤飲した場合には胃の内容物を吐かせ、速やかに医師の手当てを受けてください。
- 作業後は、手指や製品に触れた部分を水でよく洗浄してください。
- 詳細な内容が必要な場合は、当社の安全データシート（SDS）をご覧ください。

荷姿

- バルク

竹本油脂株式会社

本社・研究所 〒443-8611 愛知県蒲郡市港町 2-5 TEL.0533-68-2118 FAX.0533-68-1339
東京営業所 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 3-20-5 S-GATE 八丁堀 3F TEL.03-3553-6912 FAX.03-3553-6920
大阪営業所 〒541-0054 大阪府大阪市中央区南本町 4-5-20 住宅金融支援機構・矢野ビル 9F TEL.06-6243-3306 FAX.06-6243-3347
九州営業所 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東 2-8-10 東福第三ビル 2F TEL.092-431-4355 FAX.092-473-8605

●「チューポール」、「チューポール NV」は竹本油脂株式会社の登録商標です。
●このカタログに記載の商品はことわりなく仕様や取り扱いを変更する場合があります。
●ここに記載された事項は、弊社での標準的な試験に基づくデータであり、現場での多岐にわたる条件下での性能を保証するものではありません。

2025.10